

# 二百六十四年むかしの 豪商の暮らしがよみがえる

# 加賀屋緑地

大阪市指定文化財  
加賀屋新田会所跡

江戸中期の1750年代に大阪の両替商である加賀屋甚兵衛が、浅瀬を農地へ開発した加賀屋新田の管理のために、居宅兼新田の経営拠点となる屋敷を建築しました。大阪市内にただ一つ残る新田会所跡で、敷地内には書院や茶室があり、建物は今ではとても手に入らないような貴重な木材が使われ、匠の技が至る所に用いられている名建築です。また、庭園では四季折々の景観を楽しむことができます。



**所在地** 大阪市住之江区南加賀屋4-8-7 **入園料** 無料  
**開園時間** 10:00～16:30 (建物内の見学は16:00まで)  
**休園日** 毎週月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月4日)  
**交通** 地下鉄四つ橋線「住之江公園駅」下車、徒歩約15分  
大阪市バス「南加賀屋四丁目」下車、徒歩約5分  
南海本線「住ノ江」下車、徒歩約20分  
**問合せ** 加賀屋緑地 ☎6683-8151  
※専用駐車場はありませんのでご注意ください(駐輪場あり)



加賀屋緑地フェイスブック

～住之江のまち案内ボランティアの会～ **団体の場合は要予約 案内料無料**  
加賀屋緑地のご案内はもちろん、住之江区内の名所をご案内してくれるボランティア団体です。地域の見どころや歴史をきいてみませんか?なお、加賀屋緑地については毎週日曜日午後1時に予約なしで案内しています。  
**ご予約・問合せ** ☎総務課(企画) 窓口④番 ☎6682-9683



住之江のまち案内ボランティアの会フェイスブック



住之江のまち案内ボランティアの会 **渡辺さん**

書院の縁側に腰掛けて庭を眺めていると心地よくなります。四季折々の色合いがあってリピーターの方がたびたび訪れます。初めての来場者は「普段味わえない贅沢な気分、空間、時間を持つことができた」と備え付けのノートに書き記しています。昔より加賀屋緑地には著名人が訪れ、加賀屋家との交流を深め、書を残しています。それが額になって書院や茶室に掲げられています。「大阪市内にこんな立派なお屋敷があるのを初めて知りました。いつまでも保存してくださいね」と感謝されると、嬉しくボランティアとしてのやりがいを感じます。加賀屋緑地は1960年に大阪市から史跡顕彰を受けました。今後、商店街のカラー舗装に高灯笼や反橋に加えて加賀屋緑地が描かれ、住之江区の歴史・文化遺産としてまちづくりにかかれ、住民の誇りとして愛着が持たれることを願っています。



大徳寺四一八代貫主・由玉宗季の書



粉浜商店街聖月寿司 **ご来訪者 足立さんご夫妻**

加賀屋緑地のフェイスブックで紅葉の告知を見て、以前から気になっていたもので訪れました。江戸時代の生活が垣間見え、今にもちよんまげ姿の人が前から歩いてきそうで、都会の中にいながら異空間に身を置いている様な心とむスペースでした。なかでも書院の金色の襖絵がとても好きです。案内があることで、歴史を学び考えながらまわられて、すごく有意義な時間でした。途中、別で来られた方と一緒に案内を聞いて、交流ももてました。

名前に緑地とつくので公園だと思っていて、まさか見学できる史跡だとは思っていませんでした。しかし一歩入ったら別世界で、いろいろ案内して頂いて楽しい時間を過ごせました。四阿明霞亭には戦争の焼跡が残っていて歴史を感じました。咲いているお花は愛情をかけてもらっていて、丁寧に管理されているお庭でした。お花がまた成長した際に訪れたいです。



旧書院の金色の襖絵



住之江のまち案内ボランティアの会 **賞会長**

加賀屋緑地では、「もてなし」の心に溢れた茶人・風流人であった甚兵衛の意図が見られます。庭園は特に素晴らしく、池を囲む散策は季節の移り変わりが感じられ楽しいです。ことに紅葉の頃は最高に美しい。建物の中も見所がいっぱいで、屋敷に入る門のアーチ型の瓦が面白く、鳳鳴亭への廊下には世界一長い踏石があり、建物のどの箇所からも庭・池が眺められます。「住之江のまち案内ボランティアの会」は平成15年に結成され、住之江の歴史・景観・自然のすばらしさを加賀屋緑地を拠点に発信してきました。会員は住之江の魅力を伝え参加者に喜んでもらうことが一番の生きがいになっていますが、これ以外に案内の内容を深めるための調査・見学、他の会所との交流会なども大きな楽しみになっています。会員も募集していますので、ふるってご応募ください。訪問者は口をそろえて「こんな素晴らしい所が大阪市内にあったのか」と感嘆の声を発せられます。どうぞお気軽にお越しください。



アーチ型の瓦の冠木門

加賀屋緑地管理責任者 **小野さん**

来園された方に、四季折々の「梅」「スイセン」「ツツジ」「サツキ」「アセビ」「ユキヤナギ」「ウツギ」「ヒガンバナ」などを見て楽しんでいただくために、低木の時期を失しない剪定などの維持管理に気を付けています。また、建物内の製作をして200年を超える古い建具の取扱いに細心の注意を払っています。お客様より「良く手入れされていますね」とお言葉を頂戴したときにやりがいを感じます。旧書院の雪見障子を通して見える中庭の風情は、落ち着きがあり静かな佇まいが最高です。住宅街にあって静かな過去にタイムスリップした雰囲気を楽しむことができます。ご来園時は是非、区役所を通じて「住之江のまち案内ボランティアの会」のメンバーによる案内を受けてみてください。案内のあるなしでは大違いです。1人でも50人でもお受けしますし、入場料や案内は無料です。建物内の設え物(襖・障子など)にはお手を触れないようにお願いします。



旧書院の雪見障子を通して見える中庭

歴史を守り、未来へ語り継ぐ